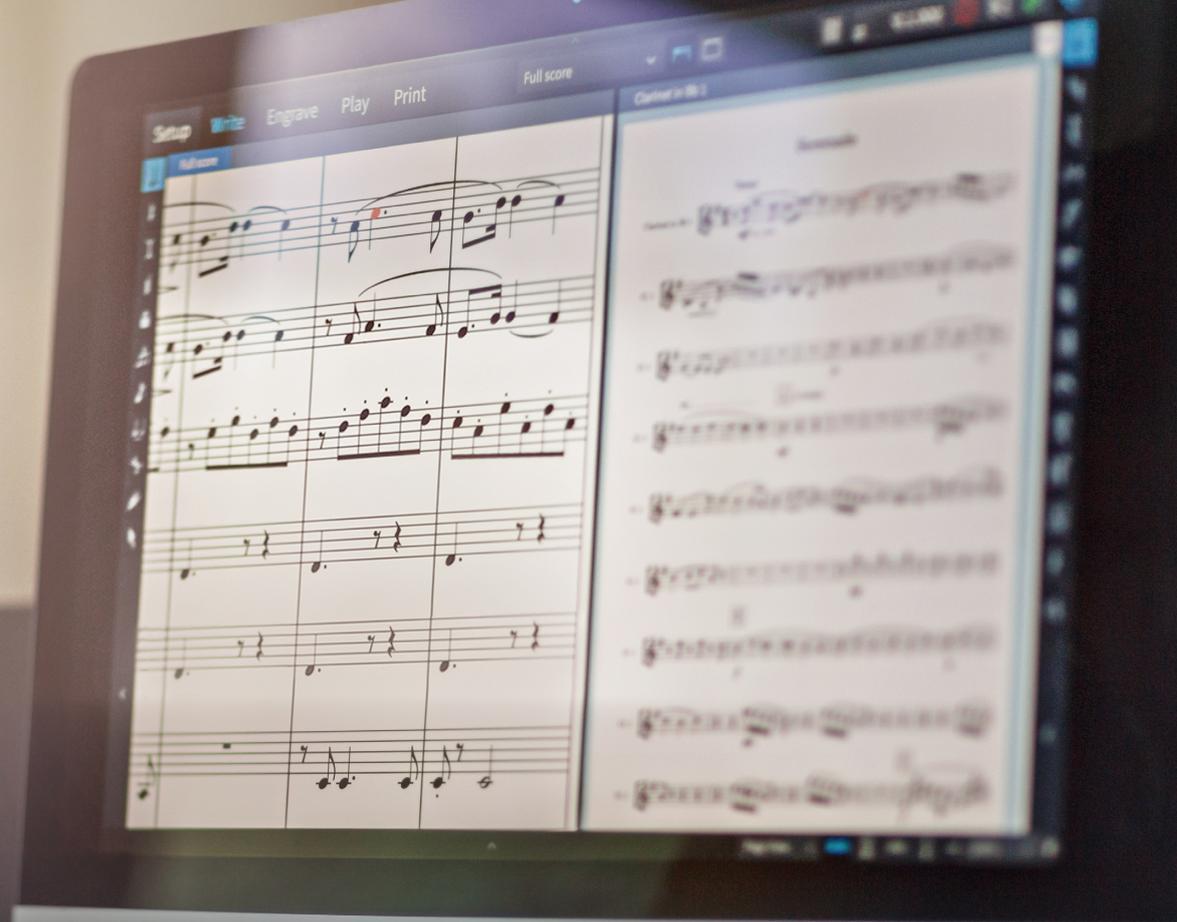


新時代の楽譜作成ソフト

 **DORICO**  
Advanced Music Notation System

 **steinberg**



# Dorico – 楽譜作成は新たな時代へ

音楽を目に見える形で残すことができる楽譜。いまやコンピューターを使用して簡単に作れる時代になりました。しかしながら手書きの譜面と同じような自由度で、かつ素早く楽譜を作成することは非常に難しいというのも事実です。そんな悩みを一気に解決するのがSteinbergが開発したDoricoです。書き手の思いを存分に引き出す数々の機能が、あなたの楽譜作成に革命をもたらします。

Doricoは美しく、クオリティの高い楽譜を直感的な操作で作成することができる楽譜作成ソフトウェアです。マウスやコンピューターのキーボードはもちろんのこと、MIDIキーボードを使用した音符入力にも対応。作成したフレーズを付属のソフトウェア音源で再生できるだけでなく、オーディオファイルとして書き出すことも可能。まさにDAW感覚のソフトウェアです。

Doricoが他の楽譜作成ソフトと大きく異なるのは、そのレイアウト機能の自由度です。「浄書」モードと呼ばれるページレイアウト機能には、出版社が使用するレイアウト専用ソフトに匹敵する機能を搭載。楽譜、テキスト、グラフィックの3種類を自由に配置することができるため、写真、解説、譜例といった教則本のようなページを作成することもできます。また、一つのファイル内に複数のレイアウトを作成できるため、フルスコアとパート譜といった同じ楽曲を様々なレイアウトで管理することも可能です。

作曲から浄書まで・・・音楽家が楽譜作成ソフトウェアに求めるすべてを備えたDoricoで、新時代の楽譜作成をご堪能下さい。

## Dorico 通常版

オープンプライス  
JAN : 4018271462973

## Dorico アカデミック版

オープンプライス  
JAN : 4018271462980

## Dorico 通常版

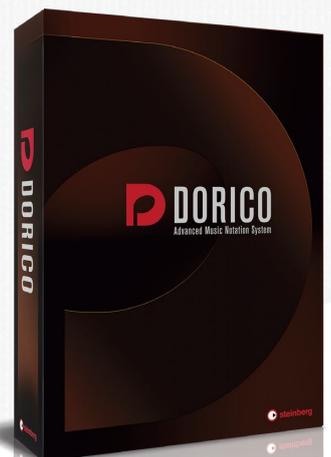
クロスグレード

オープンプライス  
JAN : 4018271462997

## Dorico アカデミック版

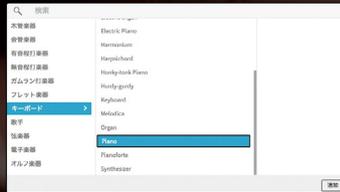
クロスグレード

オープンプライス  
JAN : 4018271463000



# Doricoによる楽譜作成の流れ

Doricoを起動すると現れるsteinberg hub画面。様々な編成のテンプレートが用意されていますので、その中からお好みのテンプレートを選択できます。編成を新規に作成する場合は「新規空白プロジェクト」ボタンを押します。



「設定モード」を使用してプレーヤー(パートに相当します。)を追加します。ピアノ譜を作成するなら「ソロプレーヤーを追加」から楽器を選択して「Piano」プレーヤーを追加すると、自動的にHALion Sonic SEにピアノ音色が読み込まれ、入力スタンバイとなります。

「記譜モード」に移動して右側のパネルから拍子を選択(ショートカットは(Shift)+M)して楽譜先頭位置にクリックすれば簡単に拍子を設定可能。さらに調号もパネルで設定(ショートカットは(Shift)+K)してクリックするだけで入力可能です。



Enter または (Shift)+N キーを押せば音符入力モードになり、左のパネルまたは数字キーで音価を選択してからキーボードのアルファベット C D E F G A B キーまたはMIDIキーボードで音程を指定するだけで入力できます。

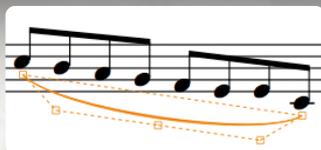


左右のアローキー(矢印キー)で入力位置の移動、上下のアローキーで段の移動ができ、Optionキー(windowsではAltキー)を押しながら上下アローキーで音程をスケールに従って上下できます。(同時にシフトキーも押すと半音で変化します)

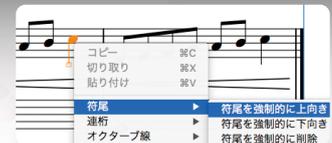


Esc キーを押せば入力モードが解除され、自由に抑揚表現や演奏記号を入力できます。例えばスラーなら該当する音符を選択して左パネルのスラーボタン(ショートカットはSキー)を押すだけ。クレッシェンド(ショートカットはCキー)なども同様に入力できます。

さらにフレーズや和音などを選択してRキーを押すと演奏記号も含めてリピートする機能も搭載。入力時間を大幅に短縮できるのもDoricoの最大の魅力です。



スラーのカーブや符尾の向きなどは「浄書モード」で細かく編集可能。下側パネルを表示すると、さらに詳細な設定項目を呼び出せます。



「再生モード」では音符をピアノロールで表記することができ、楽譜の表示を変えずに音の長さを変更することも可能です。また、VSTインストゥルメントの変更やトランスポートを使用したDAW並みの再生コントロールも可能ですので、作成した楽譜を耳で確認することができます。



作成した楽譜を印刷したりPDFなどのデジタルファイルに書き出したりする場合は「印刷モード」を使用します。用紙サイズやファイル形式を指定して印刷または書き出しボタンを押すだけで、簡単に美しい楽譜を出力することが可能です。また、オーディオエクスポート機能を使用すれば、VSTインストゥルメントによる高品質なサウンドで、作成した楽譜をオーディオ化(MP3, WAV)することもできます。



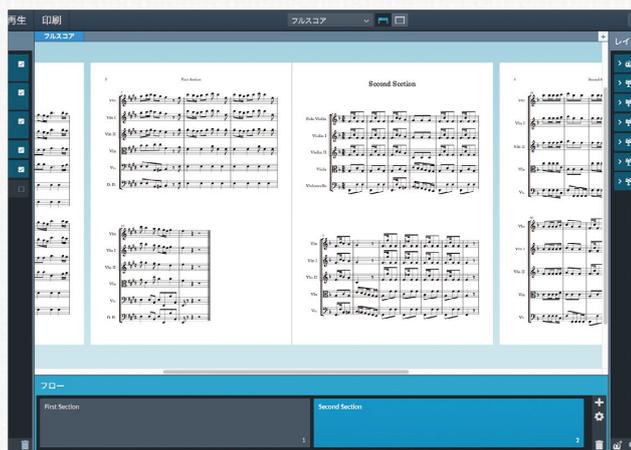
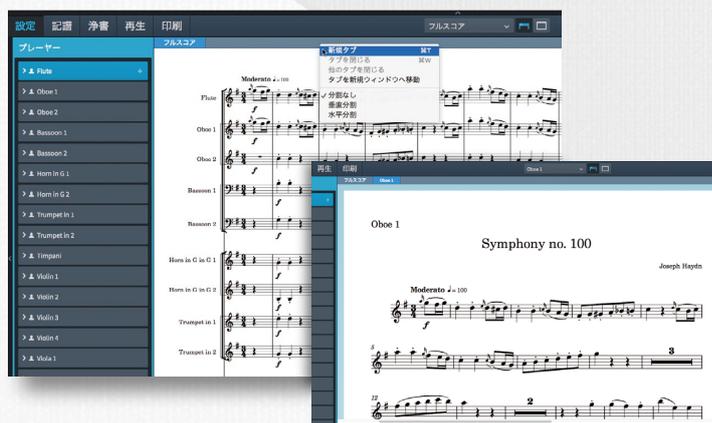


## 機能を明確に分けた5つのモードを搭載

Doricoには作業内容に応じて必要な機能を無駄なく呼び出すことが可能な5つのモードを搭載。プレーヤー（パート）の作成や用紙サイズ、ページ番号の編集などを行う「設定」モード。実際の音符入力を行う「記譜」モード。ページごとの細かいレイアウトやスラーのカーブ、符尾の向きといった見た目の編集を行う「浄書」モード。DAW感覚で音を確認したり、VSTインストルメントの編集を行ったりすることができる「再生」モード。プリント時の詳細な設定やグラフィックファイルとしても書き出せる「印刷」モード。これらのモードをワンクリックで切り替えることができ、シームレスに作業を行うことが可能です。

## フルスコアとパート譜を同時に管理

Doricoの最大の特徴はフルスコアとパート譜を一つのプロジェクトファイルで管理できる点です。「設定」「記譜」「浄書」のいずれかのモードであれば、「新規タブ」を追加するだけでプレーヤーごとのパート譜を簡単に表示させることが可能です。



## フロー機能で複雑な楽曲構成もスマートに管理

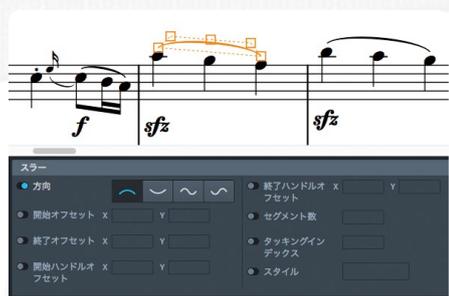
Doricoは「フロー」と呼ばれる新たなコンセプトを導入。「フロー1」を第一楽章、「フロー2」を第二楽章...といった具合に編成や拍子の異なる楽曲を一つのプロジェクトで管理できます。また、プレーヤーごとどの「フロー」に表示させるかを選択することができるので、一音も記譜されていないパート譜を印刷してしまうといったトラブルもありません。

## 美しいフォントとフレキシブルなフォント設定

Doricoに標準搭載されたBravuraフォントは、美しく洗練された楽譜を表示するために細心の注意が払われた音楽フォントです。Bravuraフォントによる楽譜は、使う人が読みやすいだけでなく、そのデザイン性が芸術的な感動まで引き出します。またDoricoには小節番号、タイトル、歌詞など様々なパートにフレキシブルなフォントアサインが行えます。出版物のマスタークオリティに匹敵する自由度の高さを、是非ご堪能下さい。



## 豊富な音楽記号と柔軟なレイアウト機能

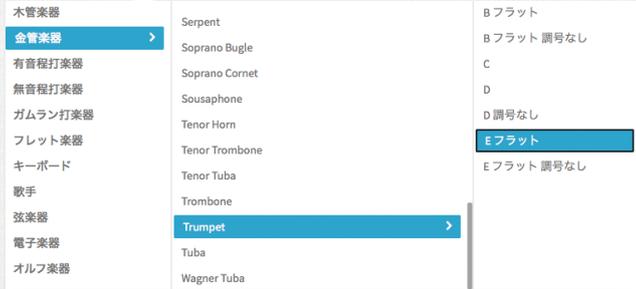


楽譜制作に欠かせない音楽記号は、画面右側のパネルから選択して簡単に入力が可能。速度記号や強弱記号に加え、金管楽器のミュート記号やハーブのp.d.l.t.など、楽器ごとに特有な記号にも対応しています。また、スラーやクレッシェンドなども対象範囲の音符を選択してパネルのボタンを押すだけで簡単に入力可能。カーブや開き具合の設定も自由に行えるだけでなく、下の段の五線と線が重ならないように自動的にスペースを調整するインテリジェントなレイアウト機能を持っています。



## 高品質VSTインストルメントを標準搭載

あらゆる楽器の音を高品位で再現するHALion Sonic SEに加え、ワンランク上のオーケストラサウンドを奏でるHALion Symphonic Orchestraも標準装備。作成した楽譜をリアルに再生可能です。

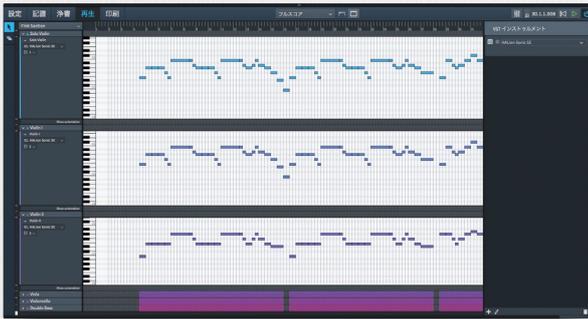


## 移調楽器を実音表記と瞬時に切り替え

プレーヤー(パート)作成時に移調楽器の設定を選択すれば、簡単に移調楽器の楽譜を作成することが可能です。入力時には移調された音名での入力と実音での入力の双方に対応。メニューを切り替えるだけで瞬時に実音表記に変更することも可能です。

## 特殊なレイアウトにも対応

Doricoの浄書モードでは、楽譜だけでなくテキストやグラフィックを自由に配置することが可能です。一般的な楽譜制作だけでなく、文字と譜例を使った書籍や、音楽の授業で使用する試験問題の作成などにも重宝します。

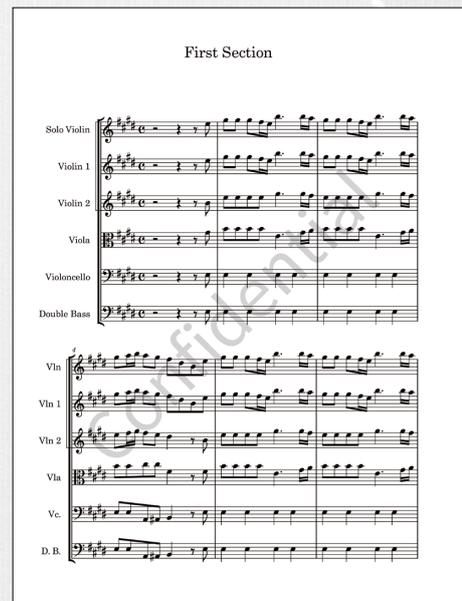


## ピアノロールを持つ独特な再生モード

楽譜ソフトには珍しいピアノロール機能を搭載。再生時の細かいデュレーションなど、音符では表現しにくいニュアンスの補完が可能です。

## 豊富な印刷オプションとファイル連携機能

Doricoの印刷モードは、単にプリンター設定を行うだけでなく、トンボや枠線といった出版に欠かせない機能を追加したり、透かしを入れたりといったオプションも装備。さらにPDF、PNG、SVG、TIFFといったグラフィックファイルへの書き出しにも対応。デジタルスコアの作成に威力を発揮します。また、SMFやXMLファイルの読み込み、書き出しにも対応しています。



## インサージョンエフェクトやEQも搭載したミキサーを装備

プレーヤーごとに4バンドEQと4つのインサージョンエフェクト、4つのセンドリターンを持つミキサーを装備。DAWに匹敵するミックスダウンが可能です。さらにオーディオファイルへの書き出しも可能。Doricoだけで作曲やアレンジをおこなった楽曲を音源に仕上げることができます。

## 動作環境

MAC	PC
OS X El Capitan(10.11) / macOS Sierra(10.12)	Windows 10 (64-bit)

■ Intel /AMD マルチコアプロセッサ

■ RAM: 8 GB (最低 4 GB)

■ ディスク空き容量: 12 GB 以上

■ 推奨ディスプレイ解像度: 1920 x 1280 以上 (最低 1366 x 768 以上)

■ DVD-ROMドライブ

■ OS対応オーディオデバイス

■ インターネット環境: ライセンスアクティベーション、ユーザー登録等

\* インストール時にファイルのダウンロードが必要です。

\* 高速ブロードバンドインターネット環境を推奨いたします。

詳しい動作環境およびOS対応については Steinberg サイトをご確認ください。

スタインバーグWEB日本語サイト <http://japan.steinberg.net/>

### Dorico のサポートについて

Dorico の操作に関するお問い合わせは、WEBフォームから承ります。  
電話でのサポート窓口はございません。

具体的な作品の表現方法につきましては、サポートの範囲外となります。  
インストールなどの初期設定についてのご疑問に関しましては、よくあるお問い合わせ - Q&A をご参照ください。

サポートをご利用いただくためには、株式会社ヤマハミュージックジャパンが輸入・販売した製品をご購入され、MySteinberg にユーザー登録を行っていただく必要がございます。

### MySteinberg について

スタインバーグへのユーザーアカウント登録、製品登録や管理を行うための Web を使ったシステムです。お問い合わせにはユーザー登録が必要です。また、製品購入前のお客様もアカウント登録をして Eメールニュースをご購読いただくことが可能です。

<https://www.steinberg.net/jp/mysteinberg.html>

ヤマハミュージックジャパンでのお問い合わせ対応やバージョンアップ 販売などのサービスは、ヤマハが輸入・販売した製品に同梱のライセンスコードでユーザー登録された方に限ります。なお、日本国内から Steinberg Online Shop へアクセスして購入された製品もサポート対象です。ただし、Steinberg Online Shop にてバージョンアップ版を購入された場合、その元となる製品がヤマハが輸入・販売した製品である必要がございます。製品をお求めになる際やお問い合わせの際は、ご注意くださいようお願いいたします。

\* 機能限定・簡易サポート対象バンドル専用ソフトウェアについては、ソフトウェアのインストール、アクティベーション、バンドルされているハードウェアとの初期設定など、ご購入から使い始めまでの簡易サポートのみ行っております。あらかじめご了承ください。

\* 記載の製品名、会社名及びロゴ等は各社の商標もしくは登録商標です。

\* 使用前に付属のマニュアルをよくお読みの上、ご使用ください。

\* 掲載製品の最新 OS への対応状況や動作環境、各種アップデートなどは、<http://japan.steinberg.net/>にてご確認ください。

\* 仕様/デザイン/価格等は予告なく変更することがあります。